

事務事業名	生活習慣病検診事後指導事業			担当	健康福祉部 健康増進課 成人健康係			
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり			電話番号	0285-83-8122		
施策名	6	健康づくりと適切な医療の確保			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			
法令根拠	健康増進法				<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成元 年度～）			
予算科目	1.一般会計	4.衛生費	1保健衛生費		3保健指導費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	検診受診者が検診結果を正しく理解し、自分の生活を振り返り、生活習慣の改善に取り組めるよう支援する。保健師・管理栄養士・看護師により、結果に基づいた個別相談を実施する。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 24年度実績 周知方法：問診票送付時及び検診結果送付時に、説明会の日程を同封。内容：市で定めた保健指導標準により実施。特に、空腹時血糖値の要精検者、糖尿病治療継続者を重点指導対象とし、検診結果説明会に加え家庭訪問による個別指導も実施した。年度末に追加検診を2回実施したため、結果説明会も2回実施した。空腹時血糖値要指導者には健康教室で集団指導を実施したが、参加人数が少なかつた。（4回、延べ64人） 25年度計画 平成24年度同様実施。特に糖尿病発症予防を重点的に実施する。要指導者に対する集団指導は中止とし、結果説明会で個人の課題にあわせた個別支援を行う。	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移												
	名称							単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
	ア	開催回数	回	40	33	41	44	31					
	イ	参加者数	人	576	834	961	927	651					
	ウ												
エ													
オ													
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 検診受診者のうち、特定保健指導該当者を除いた者。	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移												
	名称							単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
	ア	検診受診者数	人	3,253	6,416	6,338	7,128	7,528					
	イ	特定保健指導、異常なし以外の受診者数	人	2,637	4,124	4,152	4,811	5,081					
	ウ												
エ													
オ													
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 生活習慣の改善を図り、健康づくり・生活習慣病の重症化防止を図る。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移												
	名称							単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
	ア	事後指導参加者数/事後指導対象者数	%	21.8	20.2	23.2	19.3	13.4					
	イ												
	ウ												
エ													
オ													
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） ・生活習慣病の発症を予防し、健康な状態で生活できる。 ・将来的な医療費削減につなげる。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移												
	名称							単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
	ア	指導を受け健康状態を確認できた人の割合	%	100	100	100	100	100					
	イ												
	ウ												
エ													
オ													

(2) 総事業費の推移		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	170	170	170	200	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	857	866	967	1,023	0
		事業費計(A)	千円	1,027	1,036	1,137	1,223	0
	人件費	正規職員従事人数	人	5	6	7	8	0
		延べ業務時間	時間	1,060	1,446	1,643	1,470	0
		人件費計(B)	千円	4,299	6,172	6,970	6,177	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	5,326	7,208	8,107	7,400	0

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	老人保健法に基づき、平成元年から開始。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	・医療制度改革に伴い、H20から健康増進法に基づく健康増進事業として位置づけられた。 ・高血圧、脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病で治療している者が年々増加している。生活習慣病は心疾患や脳血管疾患などを引き起こす原因となる疾患であり、脳血管疾患についても増加傾向である。 ・人工透析患者についても増加傾向であり、透析費用は年間500万円程度であるため、医療費削減のために透析移行の最大原因である糖尿病の発症・重症化を防ぐことが重要である。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	・個別に結果を説明してもらえるので、自分の改善点がわかって良い。 ・個別に案内通知があるので、生活習慣改善が必要だと理解できた。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 生活習慣病を予防することは、市民の健康を守る市の施策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 健康増進法に基づくものであり、妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 健康増進法に基づき実施しており、妥当である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 検診受診者のうち、保健指導該当者に個別通知しており、向上余地がない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 健康増進法に基づき実施しているので、廃止・休止はできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の事業費で実施しているので削減はできない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の人件費で実施しているので削減はできない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 検診受診者のうち、保健指導該当者が対象であり、公平・公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							